13 医療法人財団健和会 みさと健和病院

JCEP
Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training
卒後臨床研修評価機構
認定病院

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 282 名（うち指導医数　21 名）
- **研修医数**　1 年目　4 名　2 年目　6 名
- **研修医の主な出身大学**　川崎医科大学・埼玉医科大学・札幌医科大学・聖マリアンナ医科大学・獨協医科大学・新潟大学・日本大学・弘前大学・産業医科大学
- **診療科**　内科　消化器内科　呼吸器内科　循環器内科　リウマチ科　小児科　外科　整形外科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　肛門外科　婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　放射線科　精神科　リハビリテーション科　麻酔科　消化器外科　救急科　病理診断科
- **1 日平均外来患者数**　647.5 名　**1 日平均入院患者数**　253.3 名
- **主な認定施設**　救急指定･第二次救急医療病院群輪番制病院、日本内科学会認定教育施設認定病院、日本プライマリ･ケア連合学会認定研修施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本内分泌学会認定内分泌代謝科認定教育施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設

研修プログラムの特色

みさと健和病院は大都市近郊の埼玉県三郷市にあり、第二次救急医療を担う中核的医療機関です。研修理念を「良識のある社会人、思いやりのある医療人としての成長を促す。将来の専門にかかわらず、医師としての基本的な診療能力と学習能力を習得できるように援助する」と掲げ、地域第一線医療機関でのプライマリケア、在宅医療の先駆的実践、総合診療を中心とした内科研修、必修としている整形外科研修、外来研修、往診研修などに力を入れています。

当院のある三郷市南部地域は駅から離れていることもあり、地域に住む方々が最初にかかる病院であり、高齢期から小児期までの多様な疾患を経験できます。また、第二次救急における当直研修などを通じて、救急疾患・外傷の初期対応も習得することができます。

プログラム　例　卒後臨床研修　地域医療総合プログラム（募集定員 8 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内科（24 週）、救急（8 週）、外科（8 週）、整形外科（8 週）											
2 年目	小児科（4 週）、産婦人科（4 週）、精神科（4 週）、地域医療（12 週）、選択（32 週）											

基幹型臨床研修病院での研修期間は最低 52 週。協力施設での研修は最大 12 週。
○必修科目（内科計 24 週、外科 8 ～ 9 週、整形外科 8 ～ 9 週、救急 8 ～ 9 週＋急外来･当直研修 4 週、地域医療 12 週、小児科 4 週、産婦人科 4 週、精神科 4 週）
○選択科目（上記科に加えて、総合内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、リハビリテーション科、泌尿器科、臨床病理科、麻酔科、麻酔科、眼科）

研修医の処遇

給　与	1 年次 :32.4 万円 / 月　2 年次 :37 万円 / 月　※研修手当を含む ※賞与年 2 回
諸手当	当直手当、家族手当
保　険	東京医業健保組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険完備、別に法人独自の共済制度あり
勤務時間	8 時 30 分～ 17 時 30 分
当　直	あり（5 回まで / 月）
休　暇	毎月 4 週 6 休、有給休暇（1 年次 :10 日、2 年次 :11 日）
宿　舎	希望者は病院徒歩 2 分の寮に入寮可
その他	上記以外も法人規定による各種手当（学会参加手当など）あり 2020 年度実績。働き方改革による処遇変更を検討中。

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 松戸市立総合医療センター
- 東京女子医科大学病院東医療センター
- 柳原病院
- 豊島病院
- 東京都健康長寿医療センター
- グループ内医療機関多数

当院の魅力

当院の医師研修への思い

困っている人を助けてあげたい、病んでいる人を救ってあげたい、多くの医学生はそう思って医師を目指していると思います。しかし、医学部を卒業して医師国家試験に合格すれば気持ちひとつでそんな医師になれる、というわけではもちろんありません。医師は医師免許をもらってから作られていきます。どんな医師になるのか、なりたいのか、自分の進むべき方向を決める時期が初期研修期間であり、臨床研修病院はその手助けをするところです。私たちは臨床医です。指導医も研修医も臨床医です。地域の人たちの健康を守り、病める人たちの支えになりながら、実は自分たちも成長させてもらっているのです。ですから臨床研修というものはずっと続いていくものであって、初期研修医だけのものではありません。そういう視点を大切にしながら、常に on the job training の気持ちを持ち続けたいものです。

医療というものは病院で完結するものではなく、診療所や訪問看護ステーション、様々の介護分野との連携で成り立っていること、また病院の中でも様々な職種の人たちのつながりの中で行われていることを、ぜひ実感してください。初期臨床研修の目標は医療技術の獲得だけではなく、チーム医療の実践、患者さん目線の思考、取り巻く環境への配慮など、bio-psycho-social といわれる複合的な問題解決能力の獲得も含まれます。大切な 2 年間です。私たちと一緒に臨床研修しませんか？

研修責任者から message

みさと建和病院　院長
岡村　博

私たちはずっと初期臨床研修を大切にしてきました。1994 年に初期臨床研修病院の指定をうけましたが、それ以前より研修医を受け入れてきました（私もその一人です）。当時大学病院などの大病院で初期研修を行うことが主流である中、256 床の病床数は日本最少であり、外来研修や往診研修など、地域に密着した医療そのものの研修が認められたものと思います。2004 年の新しい研修制度に移行したのちも、このような地域病院ならではの研修を大切にしつつ、必修科目を網羅するプログラムを作ってきました。どのような臨床医が良い医師とされるのかは、どのような医師が地域で必要とされているのかと表裏一体です。この間研修制度が何度か変更されましたが、当院の研修に対する spirit は普遍のものです。

先輩研修医から message

研修医（2019 年度修了）
栗原　惇

当院では救急や当直、外来を通じて、患者さんのファーストタッチを経験できます。主訴は何かを丁寧に聞き取り、それに対して適切な処置・対応をする事が治療の第一歩となるためとても重要です。

病棟では診療科が細分化されていないため、総合診療内科として幅広い疾患を経験出来ます。1 つの科で 2 ヵ月以上ローテートするため、自分のペースで確実に診療能力を身に付けることが出来るのも利点の一つです。鑑別疾患を挙げ、必要な検査を行い、治療方針を立て、実際に治療していくという一連の診療行為に対して、コメディカルスタッフと共にチームの一員として携わることで、責任感を持って仕事に取り組むことが出来ます。とはいえ、何をするにしても上級医がついているため必ずフォローをしてもらえますし、フィードバックがあるため確実にステップアップしていくことが出来ます。

また、患者さんの普段の生活環境における問題点にも着目し、理学療法士や社会福祉士のスタッフと退院後のフォローアップについて考える機会も多々あります。入院・治療・退院・その後のフォローアップに至るまで、担当医として患者さんに深く関わることが出来ます。

医療過疎地の埼玉では、場に応じて適切な対応を行える医師が必要とされています。そんな医師を目指して私達と一緒に働いてみませんか？

女性医師支援コーナー

子育て中の方は、当直や勤務時間についてはプログラム修了を目指して相談に応じます。

○院内保育…にこにこ保育園では、０～３歳児までのお子さんをお預かりします。時差にも対応し、安心して働ける保育体制を整えています。

○病児保育…０～９歳までのお子さんをお預かりします（感染症又は感染症疑いは除く）。お子さんの体調が悪い時なども休まず働くことが可能です。

連絡先　**みさと健和病院**

医局事務室　医学生担当

〒 341-8555　三郷市鷹野 4-494-1

TEL 048-955-7171（代表）　FAX 048-948-0007
E-mail gakusei@kenwa.or.jp
URL http://gakusei.kenwa.or.jp/
アクセス JR 常磐線松戸駅からバス 10 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

卒後進路を考えるにあたり、全ては病院見学･実習から始まると思います。当院は平日随時･希望内容応相談･交通＆宿舎補助ありで受け入れています。まずは左記までお問い合わせください。